

news 88

第15号
2002年2月

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221 (営業部) TEL 03-3866-2224 (総務部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

♪ 譜よみとテクニックを たのしく♪ 《アキピアノ教本》(5~8歳)

《うたとピアノの絵本》を作っているとき、「たこはあしがはっぼん」という歌詞が浮かんできて、電車の中で思わず笑いが込み上げてきました。

《アキピアノ教本》も、ふと面白い歌詞や曲を思い付いたり、不器用な男の子を教えているときに、ひとつおきに指を動かす練習を作ったりして、長い間に少しずつ出来上がってきました。

このように、この本の曲はどれも、レッスンの場で生徒の能力や欠点を見ながら必要に応じて作られたものですから、進度に無理がなく、たのしみながら子供達に譜読みとテクニックの力を付けることができます。

第1巻は、音域が《うたとピアノの絵本》とほとんど同じですが、第2~3巻になると譜読みの範囲が広がり、ハ長調以外の調も増えていきます。第2巻で基本的な伴奏の形を弾けるようになり、第3巻ではカノンを実習してから模倣する2声弾けるようになります。したがって、《アキピアノ教本》を終えると、バルトークのミクロコスモスやバッハの小品に進むことができます。表紙とカットの絵は、私の大好きな絵本「番ねずみのヤカちゃん」の絵を描いた大社玲子さんが引き受けて下さったので、とてもたのしいピアノ教本になりました。小さい子供達を教える指導に役立てていただければ、大変うれしく思います。かが教師の手腕の見せどころでしょう。



ご あ き
呉 暁



ピアノの上達はソルフェージュから
音楽之友社刊
本体価格：2400円

プロフィール

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。同専攻科修了。
米国インディアナ州立ボール大学留学。ピアノを横井美智子、石沢秀子、塚磨都、エドワード・ハウスマン、イワナ・スタノフスカにソルフェージュをアネット・デュドネの各氏に師事。著書「リズムの基礎」(共著)、「視唱の練習」(共著)、「才能を育てる子供のソルフェージュ」(編著)、「聴音と視唱・2声の練習」(共著)、「4才のリズムとソルフェージュ」、「5才のリズムとソルフェージュ」、「うたとピアノの絵本①②③」、「ピアノの上達はソルフェージュから」、「リズムとソルフェージュ①②③」他いづれも音楽の友社。

今月のNEWSな 楽譜 & グッズ

★ヤマハミュージックメディア

●くまのプーさんといっしょ〜こどものプレ・ハノン
【ハノンに無理なく進める】
初級向け 予定価格 900円 著者 佐々木 邦夫 2月下旬発売予定

ハノンへの導入をスムーズにするテキスト。ハノンに進む前に準備として取り組んでおきたい練習をくまのプーさんと一緒に楽しく学べます。

●先生と生徒のための2台ピアノコンサート Vol.1&2
予定価格 各1700円 2月上旬発売予定

同じレベルの2人の演奏者のための2台ピアノ作品はたくさんあるけれど、第一奏者は生徒で、第二奏者はちょっと頑張って音楽に厚みを加えると言う今までにないスタイルの連弾曲集です。全てクラシック曲です。

★ドレミ楽譜出版社

●ほんとはじめての音楽会ピアノ曲集
金子節子編 定価1200円 2月中旬発売予定

音楽会で弾き映えのする曲集です。前奏や後奏もしっかり付いており、アルペジオや装飾音符も盛り沢山です。 曲目：浜辺の歌、エーデルワイス、知床旅情、金婚式等他。

●パーフェクト楽典・問題集 (改訂版)
音大進学ゼミナール編 定価1800円+税 2月中旬発売予定

隠れたベストセラーの楽典問題集が改訂になりました。過去15年間の各音大の入試出題傾向を分析した音大受験のための楽典問題集です。

★リットーミュージック

●よくわかる音楽著作権ビジネス
基礎編 実践編 2nd Edition
基礎編 304頁 2900円+税 著者 安藤 和宏 2/25発売
実践編 288頁 2900円+税 著者 安藤 和宏 2/25発売

近年、著作権法の大変革が起きています。レスナーの方々にも、ぜひ知っておいて損はしない、著作権法を分かりやすく解説した良書の改定版です。音楽に関係する人達すべてに読んで欲しい本です。

★音楽之友社

●標準版ピアノ楽譜 ソレール 鍵盤のためのソナタ集
濱田滋朗 編 予価1600円 2月下旬発売予定

スペインカタルーニャ地方(ピカソと一緒に?)で生まれた作曲家アントニオ・ソレールの150曲の中から16曲を収録。ルビオ版を定本として運指を付けてあります。楽譜監修&解説はスペイン音楽に詳しい濱田滋朗氏による。

●アキ ピアノ教本 3
呉 暁 編著/大社玲子絵 定価1300円+税 2月中旬発売予定

シリーズ3部作の最後の巻がいよいよ登場。5~8才向け色々な調で重音や分散和音の伴奏を練習します。キャッチフレーズは「耳を育てる、読譜力を付ける、テクニックを学ぶ」

★全音楽譜出版社

●ギロックとグレンダのやさしいピアノ曲集
もっとリズムを楽しもう!
安田裕子 訳、解説 定価本体1200円+税

ギロックと高弟グレンダによる全くの初心者のためのピアノ曲集。グレンダのオリジナル6曲、ギロックの曲15曲をセレクトして様々な音楽スタイルやサウンド、リズム等を体験出来ます。

●音のシンメトリー
レンドヴァイ・エルネー著 森本覚訳 定価3300円+税

バルトーク、コダーイの作品分析では第1人者の著者による理論書。分析対象はバッハ、モーツァルト、ワーグナー、ヴェルディ等。日本語訳は初出版です。日本国内でも貴重な文献となっています。

●楽しい子供のバイエル併用曲集 ピアノたのしく 上
安田 すずむ編 定価1000円+税

子供のバイエルを学習中のあなたのためにやさしくて学習に役立つ曲を集めてあります。きっとピアノが楽しく上達します(曲内容はクラシック)。

ピアノ指導の 現場から

◆◆T・P・Oに合せたコンサート◆◆

～トークコンサートの魅力と意義～

レッスン活動に「演奏を聴く」ことを取り入れようとしている方は多いと思います。でも、多くの生徒さんに勧められるようなコンサートは、実際なかなかないものです。

気軽に楽しめて、しかも音楽がもっと好きになったり、意欲がわいたりするようなコンサートを作れないだろうか…。私たちは、その試みを始めました。



くにやたかゆき
國谷 尊之

社団法人全日本ピアノ指導者協会（PTNA）では、ピアノの生徒さんや、そのご家族などを対象に、「ピティナ・トークコンサート」を行っています。演奏者自らが曲の魅力についてお話ししたり、作曲家に親しみを持ってもらえるような話をする等、工夫をしながら進めていきます。また、サロンやレッスン室などの会場なら、間近で微妙な変化や呼吸をじかに味わうことで、大会場とはまた違った新鮮さを感じることができるかもしれません。

もし「聴く」よりこびが、ピアノ学習自体の成長へ結びついていくきっかけになれば、とてもうれしいことです。私も色々演奏させていただきましたが、みんなの顔がだんだん輝いてくるのを見ると、日ごろの疲れも吹き飛んでしまいます。もっとよい内容にして行きたいので、実施メンバーが集まって研究会を持つこともあります。ぜひ多くの方に興味を持っていただき、長く、幅広く続けていくことができれば幸いです。

このコンサートは、ピアノのあるところならどこにでも参上して開催しております。もちろん、ご自宅のレッスン室もOK。詳しくは、お問い合わせ下さい。（東音企画／03-3944-1581；担当 堀）

プロフィール

幼少より、ヤマハ音楽教室等で音楽に親しむ。中2の時、初めて参加した全国規模のコンクールである、第4回ピティナ・ピアノコンペティション(1980年)にて、幸運にも全国決勝大会E級銀賞を受賞。多くの素晴らしい刺激を受け、音楽家になることを決意する。2年後、全日本学生音楽コンクール北海道大会高等学校の部にて第1位入賞するも、東京大会では賞に入らず、音楽家への道のりの険しさを知る。しかし、引き返す術もなく、ピアノを続ける。多くの人々の手助けにより、東京芸術大学音楽学部器楽科に入学。学部卒業後、同大学院音楽研究科修士課程を終了。その間、第61回日本音楽コンクール入選、第3回日本室内コンクール第2位、日本演奏連盟賞、練馬文化センター奨励賞を受賞した。大学院終了後、同大学弦楽科伴奏助手を3年間つとめ、室内楽等の経験を積みながら、自らの狭い視野を広げる努力を続ける。一方、札幌交響楽団、新星日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団と協奏曲を共演するチャンスを得、細い身体で楽器を鳴らすことの難しさを知る等、研鑽を積む。これまでに、ピアノを中山ヒサ子、林靖子、安井耕一、高良芳江の各氏に薫陶を受ける。また、社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員・同協会演奏研究会副委員長を務め、「ピティナ・トークコンサート」のメンバーの一人としても活躍中。(つづく)

～連載～ ピアノレッスンの今後

Music Key Lesson レポート

岩瀬洋子・田村智子

子供たちと接する中でいつも大切に思っていることがあります。それは子供たちから自然に湧き出てくる「自由な発想」です。そして「感じたことをすなおに体や言葉で表現できること」です。最近とても考えさせられることがあります。それはイメージのわからない子供たちの多いことです。こちらの言葉かけに対してなかなか反応を示さない・示せないということがあります。この下線の二つの言葉の違いを、とても重要に受けとめています。ではどうしたら生き生きとした感性を育てることができるか…その方法に悩みました。こんな私たちの思いからこの度《ミュージッシュMUSISH》というCD付きの本が出来上がりました。「文句なしに楽しく！」この本の特長はなんといってもここです。それに音楽的要素と英語をあわせてみました。この《ミュージッシュMUSISH》という名前は、音楽MUSICと英語ENGLISHを同時に楽しく学ぼう！と、考えて私達が作りだした言葉です。子供たちが高まる気持ちを声に出し、体を動かし表現せずにはいられない…そんなふうになれたら…そんなとき、ふとラップを思いつきました。ラップの持つ躍動感溢れるリズムに触発され、自然に体が動きます。そして4コママンガで視覚的にもイメージがふくらみ、さらに歌うことで想像の世界を広げます。これらの刺激をもとに自由に考え、言葉や体で表現できるようイメージリトミックを発展させました。子供の発想は大人からみたら未熟に思えるかもしれませんが。しかし大人では思いつかないような突飛な発想や奇抜な意見があるかもしれません。そのようなときでも、子供たちのすなおな発想をしっかり受け止め、さらにふくらみ、一緒に楽しめるような大人でありたいと思います。また、子供たちにとっても自分の表現したことを、認めてもらうことが、大きな励みとなり、自信につながります。そして表現することの楽しさ、すばらしさを知ることでしょう。

(ミュージックキー出版：Tel/Fax 0559-89-3900担当：植松)

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

- 待望の「先生のための講座」いよいよ登場！
【今こそ問われるピアノ教師の資質！】講師：岩瀬洋子（熊谷）
 - 魅力的なピアノ教室実現のための
「導入指導マスター講座」講師：岩瀬洋子
今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない/親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。
開催地区：熊谷／東京／仙台
 - 「アルフレッドピアノ講座」講師：田村智子 開催地区：東京
 - 「発表会だけに曲集を使うのはもったいない？」講師：田村智子
開催地区：静岡
- 【各講座についてのお問い合わせ】
ミュージックキー：Tel/Fax 0559-89-3900担当：植松

ここだけの NEWSなCD

夜のガスパール～ラヴェル作品集

永野 英樹 (ピアノ)
日本コロムビア DENON COCQ-83529 ¥3,045

諫山 隆美
(いさやまたかよし 音楽評論家)



今や話題のピアニスト永野英樹をご存知でしょうか？まだ30代前半の若手ながら世界を舞台に活躍する、日本人ピアニスト期待の星です。彼は1968年に名古屋生まれ、12歳でピティナ・ピアノコンペティションC級金賞、15歳で毎日学生コンクール中学生の部全国第1位を受賞。その後東京芸術大学附属音楽高校を経て同大ピアノ科に進み、1987年ピティナ・ピアノコンペティション特級首位、文部大臣賞を受賞しています。翌年パリ国立高等音楽院に留学、ピアノ科、声楽伴奏科、後に室内楽科といずれもプルミエ・プリで卒業しています。彼の経歴の凄いのはここから。1995年10月にあのビエール・ブレーズが主宰するアンサンブル・アンテルコンタンポランのソロ・ピアニストとして迎えられたのです。この演奏団体はフランス語の名前が示すとおり、現代音楽専門の団体としては事実上世界一として知られ、現代音楽の世界最高峰のスペシャリストが集まる団体です。

永野英樹はここで現代音楽の腕を大いに披露しながら世界を廻っているわけですが、しかし難しそうな現代音楽しか演奏しない訳ではありません。むしろJ.S.バッハやモーツァルト、ショパンやブラームスと、レパートリーの広さはかなりなもので、またそれ以上に演奏の素晴らしさに大いに驚かされるピアニストです。すでに何枚かのCDがリリースされていますが、今回は敢えて現代曲を入れていないCDをご紹介します。ラヴェルばかりが集められたCDで、タイトル他にクーランの墓や水の戯れなど、計5曲が収録されています。録音はややデッドでラヴェル向きではないように思うのですが、いやしかし良く聴いてみるならば、永野の一見自然どころがかなり精密に設計され、例えば紙一枚が入るかどうかの隙間も逃さない微細な視点による表現は、精悍で純粋が対立融合する優れたものであります。さらに、現代的でありながら熱き血が根底に流れ、フランス風でありながら日本人らしい芯の強さが全体を貫き、しかしあっさりとしてラヴェルの音楽を何とも粋に聴かせてくれるのです。

プロフィール

現在「ムジカノーヴァ」誌巻頭カラー演奏会評、「ショパン」誌演奏会評、「音楽現代」誌CD新譜批評に執筆する他、コンサートのプログラムノートやCD曲目解説などを手がける。1993年にはTAMAらいつ21FM放送のクラシック音楽番組の構成・解説を、1998年より、(社)全日本ピアノ指導者協会主催「W.A.モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会」のプレ・レクチャー担当、1999年より池袋東武カルチュアスクールでピアノ音楽史の講座を担当して現在も続行中。2000年10月はワルシャワで開かれたショパン国際ピアノコンクールの全演奏をホームページ上で即日レポートを公開、大きな注目を浴びる。